

No.159
2013.11



広報ねば

村の木 すぎ

村の花 岩つつじ

私たちの村	
人口と世帯 25年10月31日現在	
総人口	1,047人
男	515人
女	532人
世帯数	423世帯

発行 根羽村役場
〒395-0701 長野県下伊那郡根羽村1762
TEL 0265-49-2111 FAX 0265-49-2277

ホームページアドレス <http://www.nebamura.jp>
メールアドレス info@nebamura.jp
印刷 龍共印刷株式会社



11月23日(土)にトヨタスタジアムで行われた「名古屋グランパス×柏レイソル」戦で来場者に根羽ヨーグルトをプレゼントしました。

11月号の主な内容

議会だより他	2ページ
根羽やまいいフェスティバル、功労者表彰	3ページ
木の駅プロジェクト始動他	4ページ
宝くじ助成金で整備他	5ページ
地域密着型特別養護老人ホームと高齢者安心生活空間施設の概要をお知らせします	6・7ページ
フォトコンテスト・戸籍だより	8ページ

議会だより

九月定例会

一般会計補正予算等

一六議案について審議

九月十二日・二十日・二十六日の三日間にわたり九月定期会が開催されました。内容については次のとおりです。

一般質問

◆原 光史議員

質問 安心して住み続けられる村づくりを目指すのに必要な施策の中に若者定着があります。その若者が子育てをする中で何かと費用の負担が増えるのを心配しています。複数児童を持つ子育て家庭の給食費の比率は家計への大変な費用負担になりますが、軽減化についてどのように考えますか。

回答 村では若者定住を促進するためにさまざまな事業を実施してきました。学校給食については、基本的に児童、生徒がその費用を負担する事が学校給食法で定められています。

パンの運搬費用は全額を補助しています。また、昨年度の学校給食費の状況を見ますと小中学校併せて年間五百五万八千円掛かっています。一人当たりの年間負担額は小学生で年間五万三千二百八十円、中学生が五万八千四百二十円程度の負担金になっています。また、給食費とは直接関係していないませんが、使用する食材についても、なるべく地産地消に努めたいので、昨年の一月から米については、年間使

ます。その中で、県の標準単価を超えるもの等は、村において一部その費用を補助させて頂いています。具体的に言いますと牛乳については、ネバーランドの根羽牛乳を使用しており、県単価との差額分を、根羽ヨーログルトは半額を

予 算

◆平成二十五年度根羽村一般会計補正予算(第二号)

補助林道整備事業等三十三百四十三万七千円を追加し、総額十九億九千三百十九万一千円余となりました。

◆平成二十五年度根羽村一般会計補正予算(第三号)

木造公共施設整備事業四千五百万円を追加し、総額二十一億三千八百十九万一千円余となりました。

◆平成二十五年度根羽村国民健康保険特別会計補正予算(第一号)

療養給付費国庫負担金等を四百九十万六千円追加し、総額一億二百十六万一千円余となりました。

そ の 他

◆損害賠償額の専決処分承認(第一号)

一件の損害賠償額の承認がされました。

◆平成二十五年度大杉公園建設工事専決処分の承認について

大杉公園の建設工事について

請願・陳情

◆平成二十四年度根羽村村営バス特別会計歳入歳出決算の認定

バス特別会計歳入歳出決算の認定

◆平成二十四年度根羽村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定

一般会計並びに六特別会計の決算審査が行われ、全七会計について原案どおり認定されました。

◆義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願

◆少人数学級の早期実現や複式学級の編成基準の改善、教職員定数増を求める意見書提出に関する請願書

――採択――

ご寄附をいただきました

平成二十五年十月二十日、若杉同窓会(昭和三十三年根羽中学校卒業生)の皆様より、金二十五万円のご寄附をいただきました。根羽村の福祉のために、大切に使わせていただきます。ありがとうございました。

決 算

◆平成二十四年度根羽村一般会計歳入歳出決算の認定

認定

◆平成二十四年度根羽村下水道特別会計歳入歳出決算の認定

認定

◆平成二十四年度根羽村介護保険特別会計歳入歳出決算の認定

認定

◆平成二十四年度根羽村簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定

認定

◆平成二十四年度根羽村簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定

認定

◆平成二十五年度根羽村高齢者安心生活空間施設建設工事請負契約の締結について

高橋地区に建設される高齢者福祉施設の建設工事の契約について、承認がされました。

て専決処分の承認がされました。

第二十七回根羽やまいいフェスティバル

十月十一・十三日に盛大に開催される

今年で二十七回目を迎えた根羽やまいいフェスティバルが十月十一日・十三日の二日間、盛大に開催されました。

両日とも天候に恵まれ、十一日の運動会では、百五十羽の放鳩セレモニーに始まり、洞別対抗綱引き、地区対抗リレーなどが行われ、小学校入学前の子供さんから老人クラブの皆さんまで、様々な種目で選手の皆さんはもちろん、観客の皆さんも大きな声援を送るなど、楽しい一日を過ごしました。

来年からは小学校の運動会も合同で開催される予定で、より一層盛大に開催される事と思います。十三日の特設ステージでは中国雑技団ショーや仮面ライダーショーをはじめ、根羽中学校吹奏楽部・根羽小学校ふるさと太鼓の演奏会、風越高校吹奏楽部演奏会、文化協会による芸能発表等が行われました。

グランドでは、体育協会によるチャレンジコーナーに加え、ペタンク体験コーナー、ふれあい移動動物園が、ポニーの乗馬とあわせ、盛況に開催され、一日中にぎやかな歓声が響きました。

また、今年は、住民グループ「活かまい会」の皆さんによる五メートルに及ぶジャンボからすみ作りや、森林組合の「低コスト住宅のサンプル展示」、トレーニングセンター内では、一番古い物

で明治四十四年頃の物をはじめとする根羽の昔の写真の展示も行われました。



▲低コスト住宅サンプルの展示会



▲ジャンボからすみ作りに挑戦



▲中国雑技団(変面ショー)



▲小学生リレー

・功労者

小澤 由宗 様
石原吉三郎 様
石原 一式 様
うめの会 様 様
ボテトの会 様 様

・感謝状

浅井 礼子 様 東京都
シームス根羽会 様
昭和大学歯学部 様
歯科医療研究会 様 東京都



▲功労者表彰等を受賞された方々

平成十五年度根羽村功労者表彰

この表彰は、表彰審査委員会の答申を受けて行うもので、十月十二日のやまいいフェスティバルの運動会の会場で表彰されました。表彰者は次のとおりです。

村では毎年、行政・経済・文化・その他各方面で顕著な功績や他の模範となる善行による優れた皆さんや団体を表彰しています。



▲洞別対抗綱引き 今年は中央が優勝しました



▲タコレース

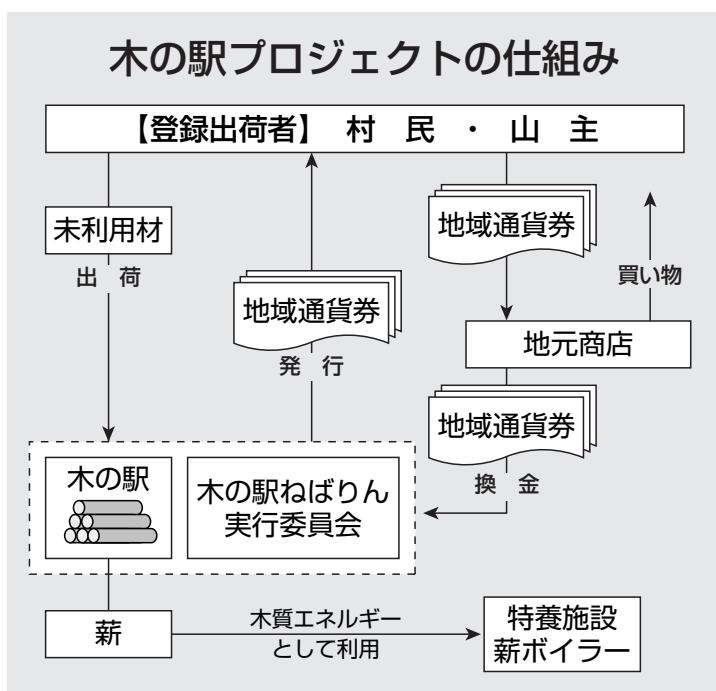


間伐で山から運び出した林地残材や、小径木などの未利用材を、平成二十七年春に開所する特別養護老人ホームで木質バイオマスエネルギーとして利用し、立木の買い取りは、村内の商店で使える地域通貨券を発行し、地域経済循環を目指すプロジェクトが始動しました。

木の駅プロジェクト始動 未利用材の活用で地域経済の循環を

荷を行いました

十月末現在で、登録出荷者は二十九名、登録商店は二十二店舗で、「木の駅」に集められた未利用材は約四十立方メートルでした。



長に石原明治さん(下町)が選出されました。

第一期の出荷が、去る十月六日から始まり、当日は登録出荷者十三名がそれぞれの軽トラックに山から間伐の林地残材などを積んで、旧中部日本工業跡地にできた「木の駅」に集出されました。

出荷者は村内に在住者、在勤者または村内山林所有者で実行委員会に登録が必要です。
●集積土場は？
丸太を集める土場（木の駅）は、黒地の旧中部日本工業跡地です。

木の駅に出荷をする方法や仕組みなど詳しく知りたい方は、「木の駅ねばりん実行委員会」事務局・南木一美(☎〇九〇一三一一四一三七七四)または役場振興課までお問い合わせください。

薪に加工して、平成二十七年春に開所を予定している特別養護老人ホームで導入が計画されている薪ボイラー燃料として出荷する予定です。

●集積された木はどうす
るの？

百円（単位・一カエル）です。
登録商店は木の駅の「のぼり旗」が掲げられており、現在二十二店舗が登録されています。

翌週の金曜日に村内の登録商店等で使える地域通貨券「ねばね森券」が、実行委員会からもらえます。

林業の仕事をしていたことがありますか？

林業退職金共済制度 (林退共)からの お寄せご質問

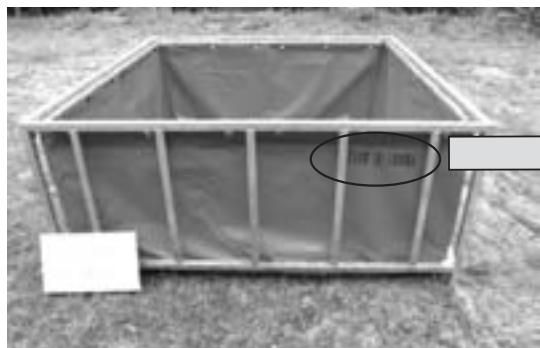




(吸水管)



(消防用ホース)



(角型組立水槽)

村では、少子化対策及び住民の子育て負担軽減策の一環として、保育所での通常保育に加え午後四時から午後六時までの延長保育、未満児保育、休日保育等を実施していますが、保育所に勤務する保育士の賃金の一部について「福祉サービス提供事業」として、地域活性化事業の実施に対して交付される「電源立地地域対策交付金」を充当して事業を実施しています。

平成二十五年度 電源立地地域対策 交付金事業の実施 について

公益財団法人 長野県市町村振興協会から宝くじ助成金により角型組立水槽（給水管含）一基と消防用ホース五十本を整備しました。今後、有事の際はこの水槽と消防用ホースを有効に活用し活動できることを期待しています。

角型組立水槽と消防用ホース

国税庁ホームページに、「消費税法改正のお知らせ（社会保障と税の一括改革関係）」の特集ページを設けておりますのでご覧ください。

<http://www.nta.go.jp/shiraberu/ippanjoho/pamph/shohi/kaisei/201304.htm>

宝くじの助成金で整備

消費税法改正のお知らせ

南信州広域連合と飯田医師会からのお知らせ 地域のみなさまの安心を支えるため、地域医療の充実に取り組んでいます

あなたの看護経験、看護の資格を活かしませんか？長野県ナースセンターに登録をお願いします。

ナースセンターは、看護職員の求職と求人施設の橋渡しを行っています。ナースセンターに登録すると、就職相談、求職情報だけでなく、研修会の情報、進路進学相談などを受けることができます。再就職支援研修、訪問看護研修などの研修会が受けられるのはナースセンターだけです！

ご登録は… e-ナースセンター：www.nurse-center.net

お電話でのご登録・お問い合わせは… ☎：0263-35-0067 長野県ナースセンター

長野県ナースセンターは、看護職限定の無料職業紹介所です
長野県が長野県看護協会に委託して事業をおこなっています



平成25年度冬季・平成26年度春季自衛官募集のお知らせ

募集種目	資 格		受付期間	試験期日
陸上自衛隊	推薦	15~17歳未満の男子(中卒見込)	11月1日(金)~12月6日(金)	1月11日(金)~1月13日(月)の内1日
高等工科学校	一般	15~17歳未満の男子(中卒見込)	11月1日(金)~1月10日(金)	一次試験：1月18日(土)
防衛大学	一般(後期)	21歳未満の者(高卒見込含む)	1月22日(水)~1月31日(金)	一次試験：3月1日(土)
予備自衛官補	一般	18歳以上34歳未満の者	1月中旬~4月上旬頃まで	平成26年4月中旬頃
	技能	18歳以上の者※国家免許資格等取得者		
自衛官	一般・技術	20歳以上26歳未満の者	2月上旬~4月下旬頃まで	平成26年5月上旬頃
幹部候補生	歯科・薬剤科	20歳以上30歳未満の者		
医科・歯科幹部自衛官	医師・歯科医師の免許取得者	2月上旬~4月下旬頃まで	平成26年5月中旬頃	

■お問い合わせは 自衛隊長野地方協力本部 飯田出張所 TEL. 0265-22-2613

ホーム・デイサービス施設 らせします



年度当初の地区懇談会でご報告させていただいた「根羽村地域密着型特別養護老人ホーム並びにデイサービス施設」の設計概要(平面図)をお知らせします。

この高齢者福祉施設は、特養・ショートステイ(短期入所)・デイサービスの三つを一ヵ所でサービスできる施設となっています。

すべての構造材と可能な造作材は根羽村の地域材である杉・檜を使い木造平屋建て準耐火・バリアフリー構造で、地域材の良さと利用される方や訪問者の方にも安らぐことができるよう設計されています。

デイサービス棟の延べ床面積は一、〇九一・六三m²。利用者定員四十名、事務所や医務室、入浴、厨房各施設を併設しています。

特養棟は、現在建設に向け設計を進めていますが、概要是個室でユニット方式の入所定員二十九名と、四名の方がショートステイを利用できます。

施設の暖房や給湯は、主に木質バイオマス燃料とし、村内にある豊富な資源をエネルギーとして薪ボイラーや使用し、環境にも配慮しています。

工事施工予定等については、既に造成工事は、七月から九月に行い竣工しています。デイサービス棟の入札も九月末に行い、現在基礎工事に取り掛かっています。今年度中に木質バイオマス関係(薪ボイラー)の入札を行う予定です。特別養護老人ホームの建設は平成二十六年度当初に入札を行い、平成二十六年暮れには完成予定で、いずれの施設も平成二十七年春の開所をめざし建設を進めていきます。

特養・デイサービス棟の設計ができました

地域密着型特別養護老人 概要をお知

老人福祉施設の名称を募集します

平成二十七年春に開所予定の、高齢者福祉施設の名称を次のように募集します。

- ・募集期限 平成二十六年一月十七日（金）
- ・応募対象 根羽村民に限る
- ・提出先 役場住民課

い。

大勢の方の応募をお待ちします。
なお、応募用紙は区長便で配布します。

応募用紙に住所氏名等を明記のうえ、封筒に入れ提出ください。



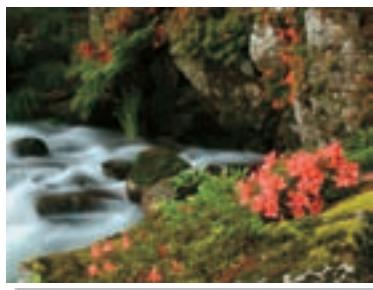


笑顔 加本洋志子(岡崎市)

村長賞



南信州新聞社賞



審査員特別賞



中日写真協会賞

高原の空
鳴海寿勇(飯田市)

写真刊賞

清き流れに
加藤優治(飯田市)

信州日報賞

どうもろこしいかが
牧野シゲノ(西尾市)

ふるさと根羽村フォトコンテスト
「春・夏の部」審査結果

今年度実施しました、第三十二回ふるさと根羽村フォトコンテスト「春・夏の部」において十一名の方が入賞されました。

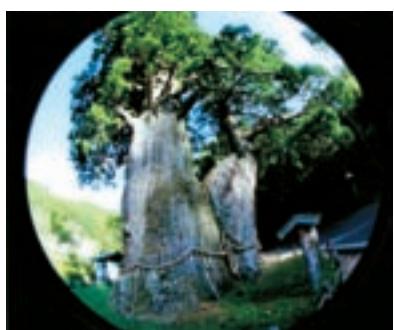
ふるさと根羽村フォトコンテストも今年で十六年目を数え、現在は過去二百五十点余りの入賞作品を掲載した記念誌を製作しております。どの写真にも美しい根羽村が表現されています。

当コンテストに応募された作品は、現在ネバーランドホールに展示しております。どの写真にも美しい根羽村の部を計画しておりますので、是非多くの方々のご応募をお待ちしています。

第32回

ふるさと根羽村フォトコンテスト

観光協会長賞



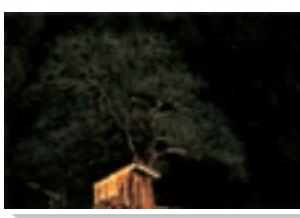
月瀬の大杉 杉浦幸美(碧南市)



信濃毎日新聞社賞

大杉の下で
水鳥洋子(岡崎市)

優秀賞

ネバタゴカエル
下川清光(西尾市)選外特別賞
満開に咲いた菊いもの花
杉浦孟悟(碧南市)優秀賞
残照
青木幸子(埼玉県上里町)